



北九州市立大学

THE UNIVERSITY OF KITAKYUSHU

『今、大学教育に求められるジェネリックスキル』

# 地域活動におけるジェネリックスキルの育成

～AP・CP・DPの連続に向けて～

2011年9月3日(土)

北九州市立大学

地域創生学群

真鍋和博

# 北九州市立大学概要

## 【歴史】

- 昭和21年 小倉外事専門学校 創立
- 昭和25年 北九州外国語大学へ昇格
- 昭和40年 商学部、同41年 文学部、同48年 法学部設置
- 平成13年 国際環境工学部設置 現校名へ
- 平成17年 独立行政法人化、基盤教育センター、キャリアセンター設置
- 平成19年 地域創生学群設置

## 【学部構成】

北方キャンパス

外国語学部(英米学科、中国学科、国際関係学科)  
経済学部(経済学科、経営情報学科)  
文学部(比較文化学部、人間関係学科)  
法学部(法律学科、政策科学科)  
地域創生学群(地域創生学類)

ひびきのキャンパス

国際環境工学部(エネルギー,機械,情報,建築,環境生命)

## 地域創生学群の概要

**学部名称：地域創生学群**

**コース：地域マネジメント,地域福祉,地域ボランティア養成**

**修業年限：4年 ※最長6年の長期履修制度有**

**学 位：学士(地域創生学)**

**授業時間：月～土、1～7限(9:00-21:10)**

**設置時期：平成21年4月**

**定員：90名(A015/社会人特別40/一般35)**

# 地域創生学群設置の目的

地域の  
再生と創造



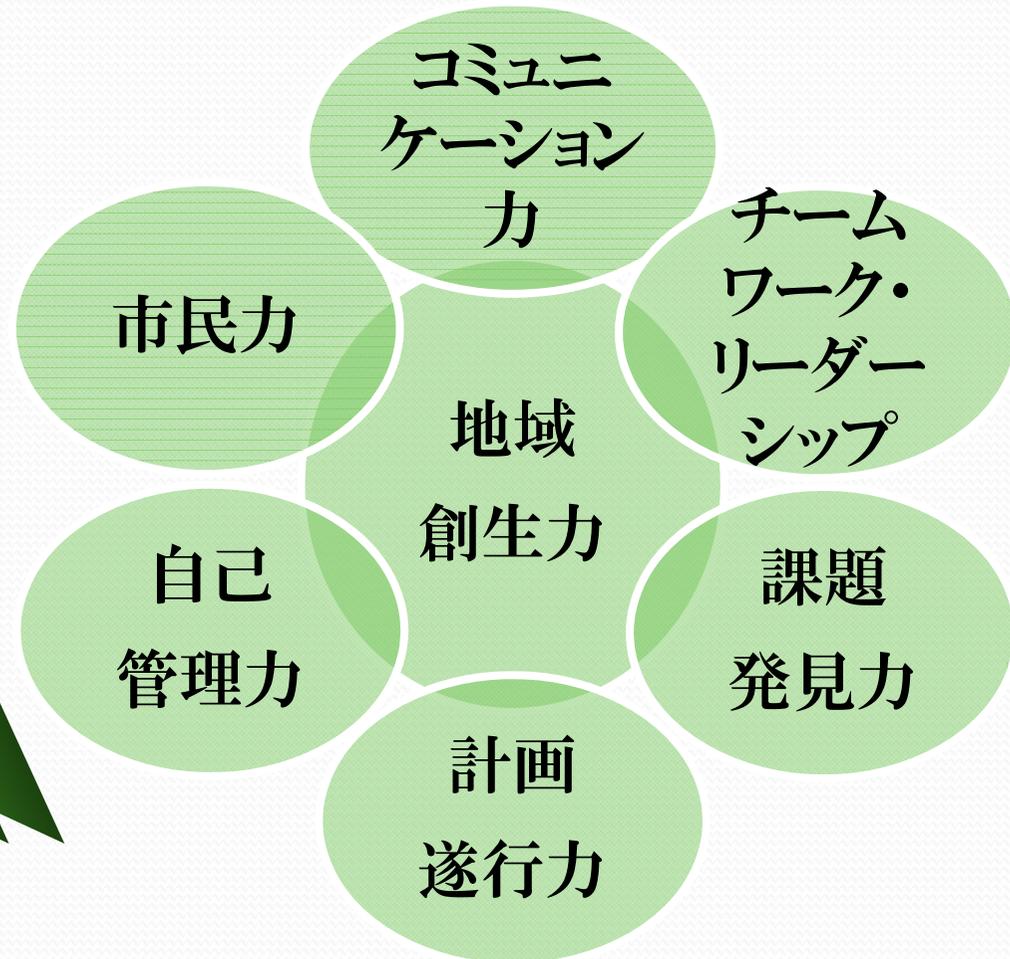
実践できる  
人材の輩出



地域創生力  
の獲得



## 地域創生力



## 地域創生学群が育成する人材像

- ① 実践力を伴う専門性をもって、企業・NPO・NGO・行政組織などでリーダー的役割を担う人材
- ② 情報処理能力をもって、企業・NPO・NGO・行政組織などで活躍する人材
- ③ 地域福祉の抱える問題を総合的に把握・理解し、実践力をもった専門性を修得した上で、現場でコーディネーター的役割を担う人材
- ④ ボランティアとしての専門性を身に付け、自らの才能や技能を発揮して、生涯にわたり地域ボランティアとして活躍できる人材
- ⑤ 豊かで潤いのある人生の実現、生涯を通じた人間形成を通じて、人的財産として地域文化の発展に貢献できる人材

# 実習、演習を相互に組み込んだ教育システム

1年次

指導的実習プログラム

2年次

地域創生実習 I  
スポーツボランティア実習 I  
障害者スポーツ実習 I

3年次

地域創生実習 II  
スポーツボランティア実習 I  
障害者スポーツ実習 I

4年次

地域創生演習C・D  
相談援助演習5

卒業論文・卒業実践報告

地域創生フォーラム

地域創生基礎演習  
A・B

地域創生基礎演習C・D  
相談援助演習1・2

地域創生演習A・B  
相談援助演習3・4

○地域創生学群  
専門基幹科目  
専門科目

○基盤教育センター  
ビジョン科目  
スキル科目

テーマ科目  
情報教育科目  
外国語教育科目

## 地域創生学群のサービスラーニング(実習)

- ◆**商店街活性化**／小倉や門司の商店街活性化に向けて、イベントを企画したり、地域のお手伝いをさせていただく。
- ◆**農業**／小倉南区合馬や八幡東区猪倉で、地域の方々と交流しながら農産物の生産や販売を行う。
- ◆**組織運営**／地域共生教育センターの運営を学生が実施したり、学部の広報活動を行う。
- ◆**FM番組制作**／ラジオ番組を企画、提案、放送の一連のプロセスを体験する。地域資源の発見
- ◆**福祉関連実習**／自閉症児を対象とした1泊2日のキャンプを学生が企画運営。また、車椅子バスケットボールや車椅子テニスなどの大会の補助と模擬店の運営。
- ◆**スクールボランティア**／教育委員会と包括提携。特別支援学校・学級を含む小中学校で先生のアシスタントや授業のサポートを担当
- ◆**NPO法人サポート**／シニア向け体力維持促進事業に学生が参加。体力測定やシニアスポーツをサポート

# 地域創生学群のサービ斯拉ーニング(実習)



## 【AO選抜】

- 1次選考/模擬授業の受講とレポート(200)
- 2次選考/面接・自己推薦書(200)

## 【一般選抜】

- センター試験/2教科2科目(200)
- 個別学力試験/小論文(100)  
面接(志望理由書,調査書含・100)  
活動・資格等実績申告書(100)

※特徴的な「面接」を実施

# 地域創生学群1年生の基礎力 リテラシー

## 他大学との比較 1年生

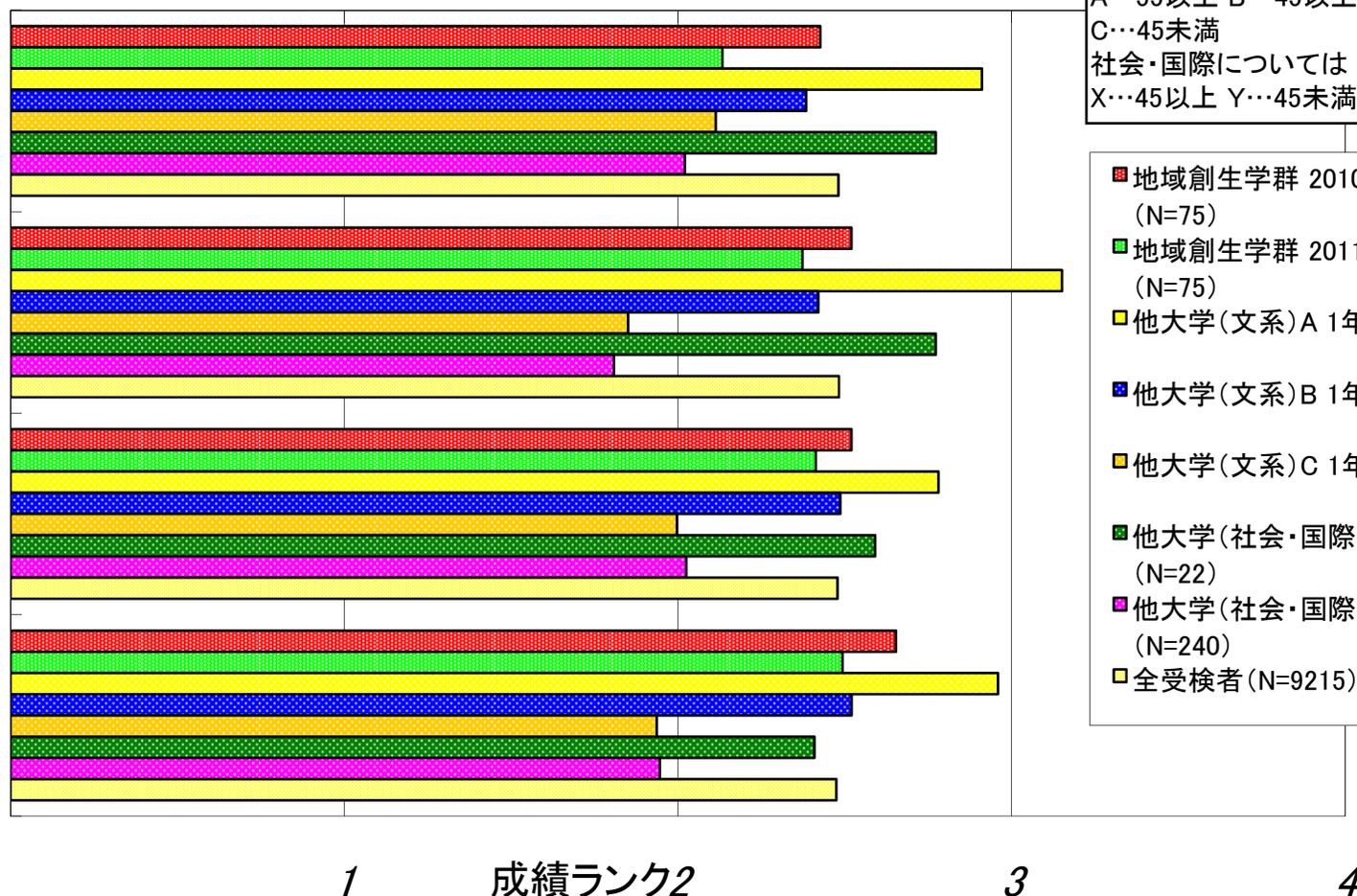
『リテラシー(問題解決力)』成績ランク平均

情報収集力

情報分析力

課題発見力

構想力

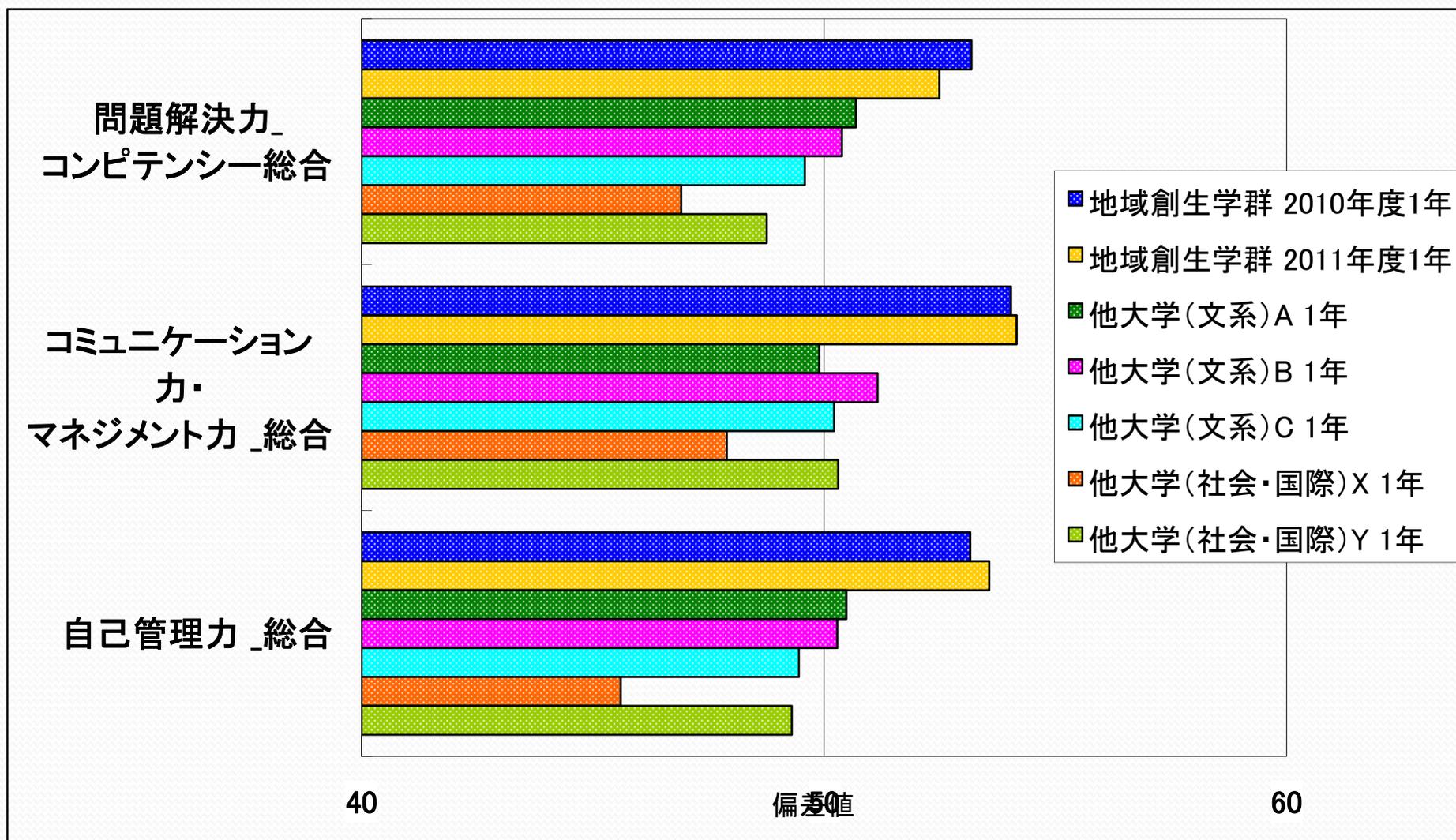


※他大学の分類は入試偏差値を基準にしている。  
文系については  
A…55以上 B…45以上55未満  
C…45未満  
社会・国際については  
X…45以上 Y…45未満

- 地域創生学群 2010年度1年 (N=75)
- 地域創生学群 2011年度1年 (N=75)
- 他大学(文系)A 1年 (N=147)
- 他大学(文系)B 1年 (N=2034)
- 他大学(文系)C 1年 (N=1644)
- 他大学(社会・国際)X 1年 (N=22)
- 他大学(社会・国際)Y 1年 (N=240)
- 全受検者 (N=9215)

# 地域創生学群1年生の基礎力 コンピテンシー

## 他大学との比較 1年生



## ●●●● 学生の成長のトリガー

- 目標設定/活動の目的と目標の共有
- チームビルディング/リーダーとフォロワー、役割設定
- 成果物/発表、イベント実施、報告書等
- 教員の適度な距離/ペースメーカー,ファシリテーター
- 追い込む/逃げられない状況からやり遂げる

## おわりに

- サービスラーニングやProject Based Learningは学生の基礎力を伸ばすのに効果的だと考えるが、素養のある学生を獲得することも重要と考える。
- 基礎力を伸ばすための教員の関与は、プロデューサー兼強豪野球部監督といった感じ。アカデミック教員でもゼミや論文指導で十分にできること。既にやっている教員も多い。
- 基礎力テストは学生の現状を把握し、学生指導に役立つだけでなく、学部全体大学全体の学生の現状を把握することで、DP,CP, APを議論する素地になるのではないか。
- 課題は、能力を測定することへの懐疑心。